

TAMATEYAMA
ANNIVERSARY 80th

学校法人 玉手山学園
 関西福祉科学大学
卒業生・事業所アンケート 2022

回答結果集計報告書

2023 年 1 月
関西福祉科学大学 学生支援センター

1. アンケート概要

本アンケートは、関西福祉科学大学 学生支援センター 就職担当部門が実施した、関西福祉科学大学卒業生、ならびに当該卒業生の就職先事業所を対象としたアンケートである。今後の教育内容改善、就職支援活動の改善に向けて、就業後の社会人としての基礎的な行動力を問うアンケートを実施した。

調査目的	就職後の社会人としての基礎的な行動力の測定
実施期間	2022 年 8 月 31 日～9 月 16 日(17 日間)
実施手法	Microsoft Forms を用いた Web アンケート、対象へは郵送にて依頼
調査対象	①2021.3 本学卒業生：452 名 ②上記卒業生の就職先：397 事業所／452 名分
実施	関西福祉科学大学 学生支援センター

2. 設問項目概要

本アンケートでは、設問を「回答者属性／現在の勤務・在籍状況」「社会人基礎行動力」「自由記述項目」の3セクションに分けている。各セクション別の設問項目は以下のとおりである。

①卒業生対象

回答者属性 現在の勤務・在籍状況	Q1-6	氏名、在学時の所属学科・専攻、勤務先名、在職状況、転職先 (転職の場合のみ)
社会人基礎行動力	Q7-12	コミュニケーションについて 問題解決について マナーについて 自己管理について 協調性について その他
自由記述項目	Q13	仕事に関することや本学への要望

②事業所対象

回答者属性 現在の勤務・在籍状況	Q1-4	事業所名、卒業生氏名、在職状況、退職理由(退職の場合のみ)
社会人基礎行動力	Q5-10	コミュニケーションについて 問題解決について マナーについて 自己管理について 協調性について その他
データサイエンス教 育に関して	Q11-12	

自由記述項目	Q13	本学への要望
--------	-----	--------

3. 回答数

有効回答数 ①卒業生：78 件

②事業所：250 件

①卒業生

学科・専攻	回答数	送付数	回答率
社会福祉学科	21	110	19.1%
心理科学科	6	52	11.5%
健康科学科	10	59	16.9%
福祉栄養学科	12	64	18.8%
リハビリテーション学科	21	109	19.3%
教育学科	8	58	13.8%
合計	78	452	17.3%

②事業所

学科・専攻	回答数	送付数	回答率
社会福祉学科	70	110	63.6%
心理科学科	19	52	36.5%
健康科学科	41	59	69.5%
福祉栄養学科	35	64	54.7%
リハビリテーション学科	57	109	52.3%
教育学科	28	58	48.3%
合計	250	452	55.3%

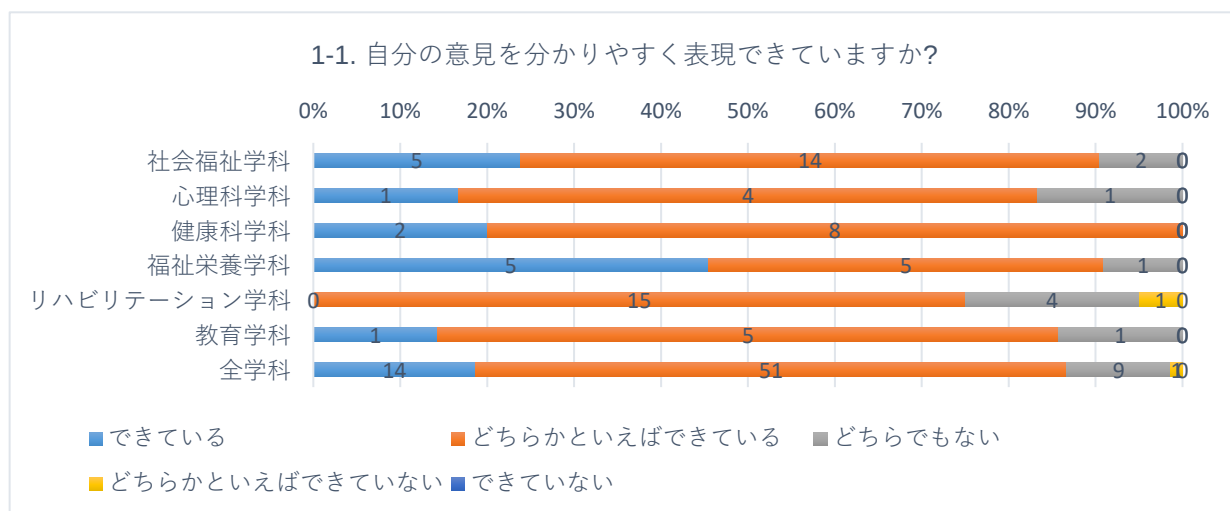
4. 設問別集計結果

【1. コミュニケーションについて】

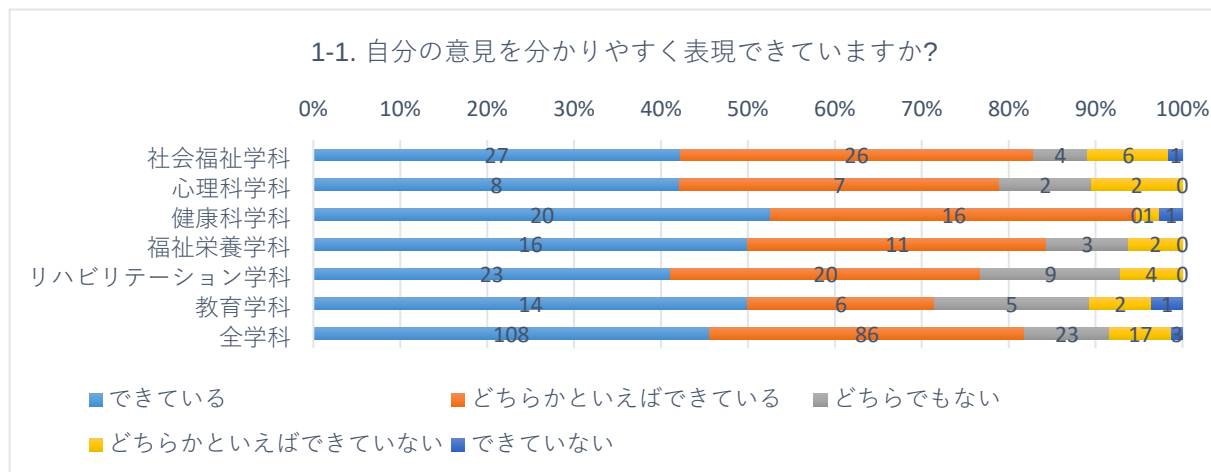
・(1-1. 自分の意見を分かりやすく表現できていますか？)(1-2. 相手の意見を丁寧に聞き、理解することができますか？)ともに、卒業生自己評価、事業所評価とも「できている」「どちらかといえばできている」の評価は高い。一方で事業所からは「どちらかといえばできていない」「できていない」の評価も一定数存在する。

1-1. 自分の意見をわかりやすく表現できていますか？ (以下、すべて棒グラフ内の黒数字は実回答数)

<卒業生>

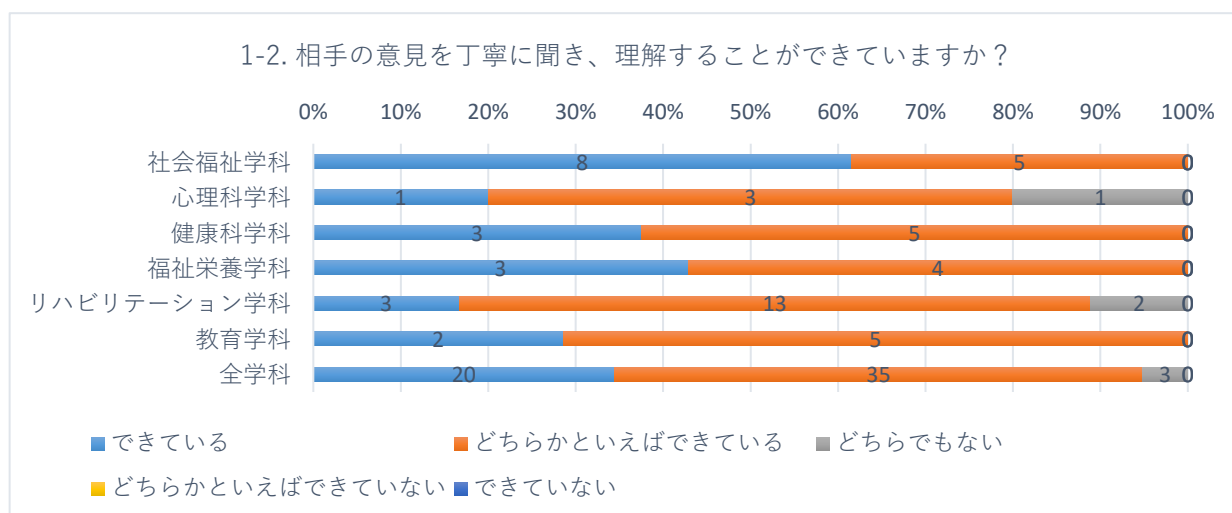


<事業所>

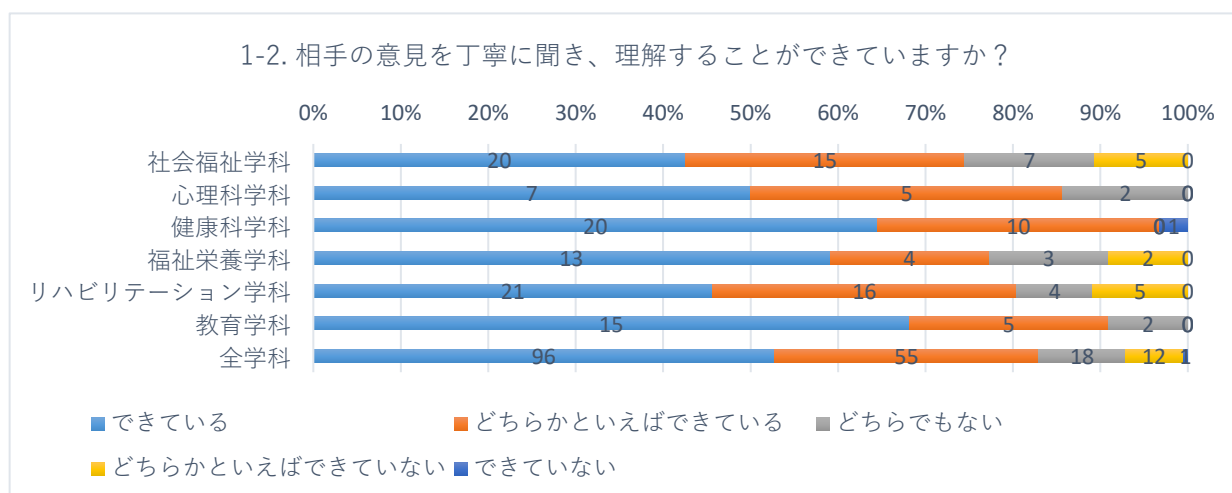


1-2. 相手の意見を丁寧に聞き、理解することができますか？

<卒業生>



<事業所>



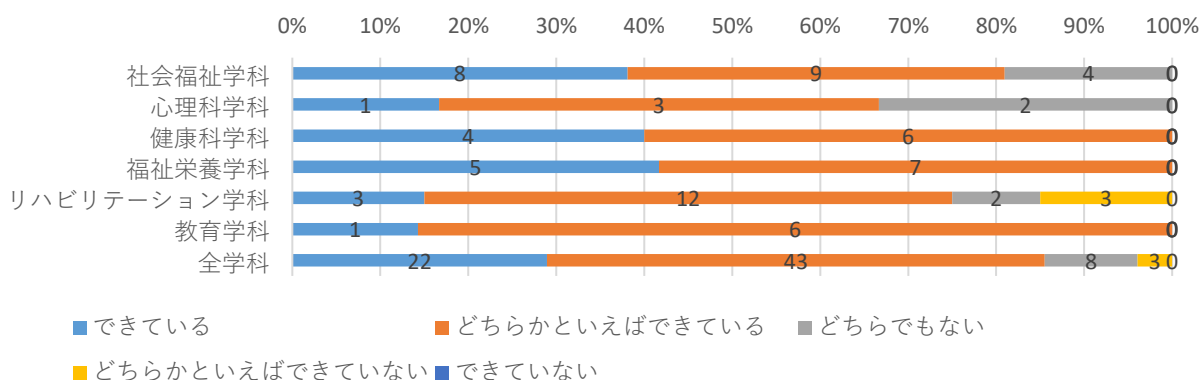
【2. 問題解決について】

・全項目とも卒業生の自己評価は「できている」「どちらかといえばできている」が多い一方で、事業所からは「どちらかといえばできていない」「できていない」の評価が一定数ついている。

2-1. 現状を分析し、課題を見つけることができますか？

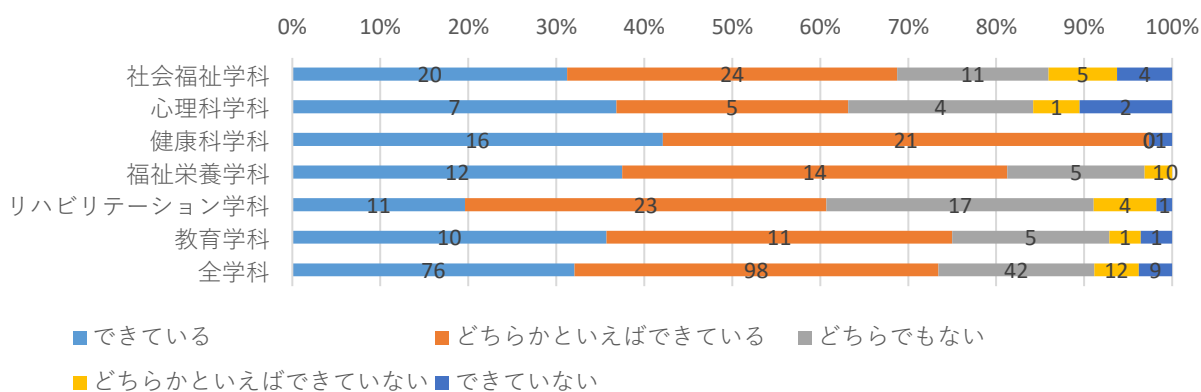
<卒業生>

2-1. 現状を分析し、課題を見つけることができますか？



<事業所>

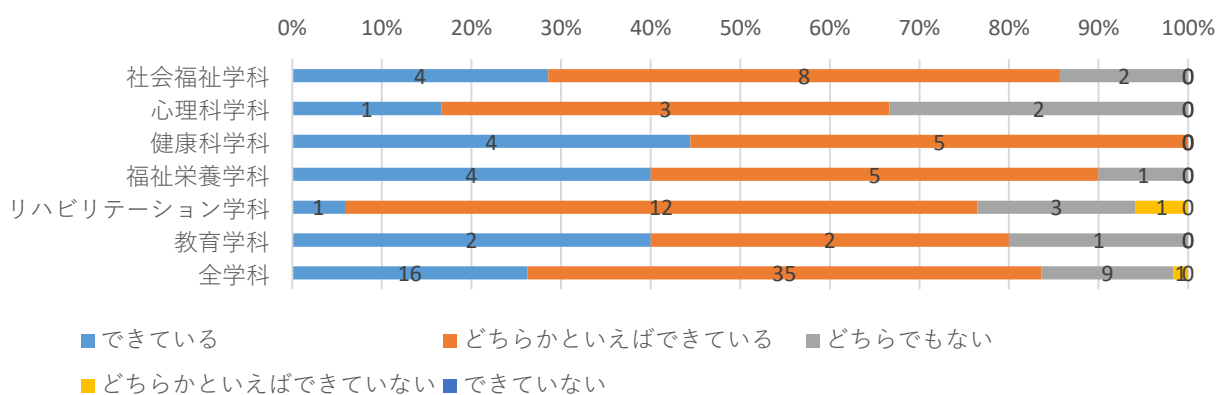
2-1. 現状を分析し、課題を見つけることができますか？



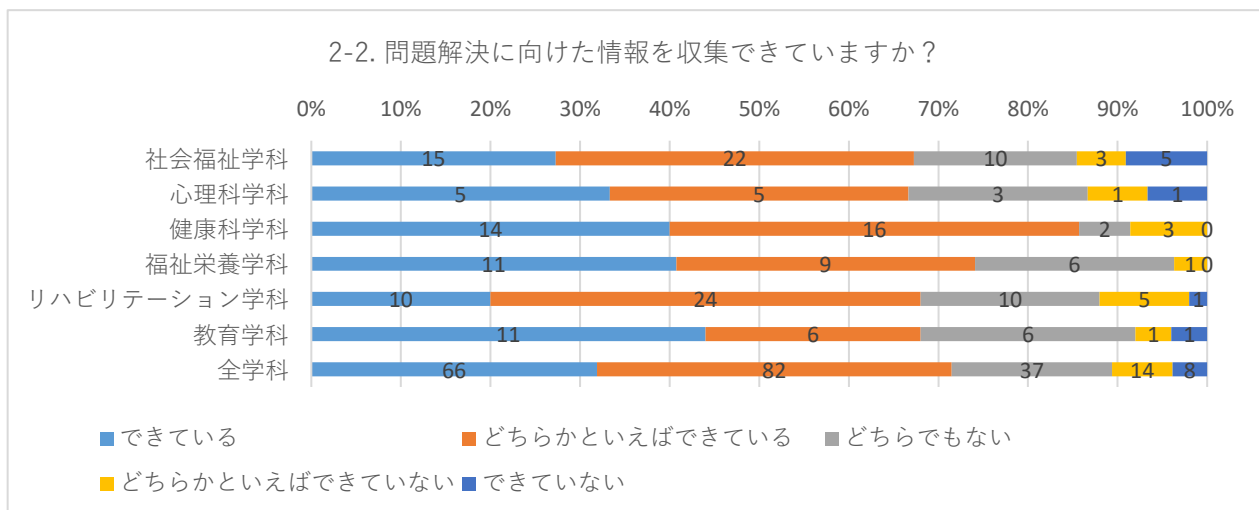
2-2. 問題解決に向けた情報を収集できますか？

<卒業生>

2-2. 問題解決に向けた情報を収集できますか？

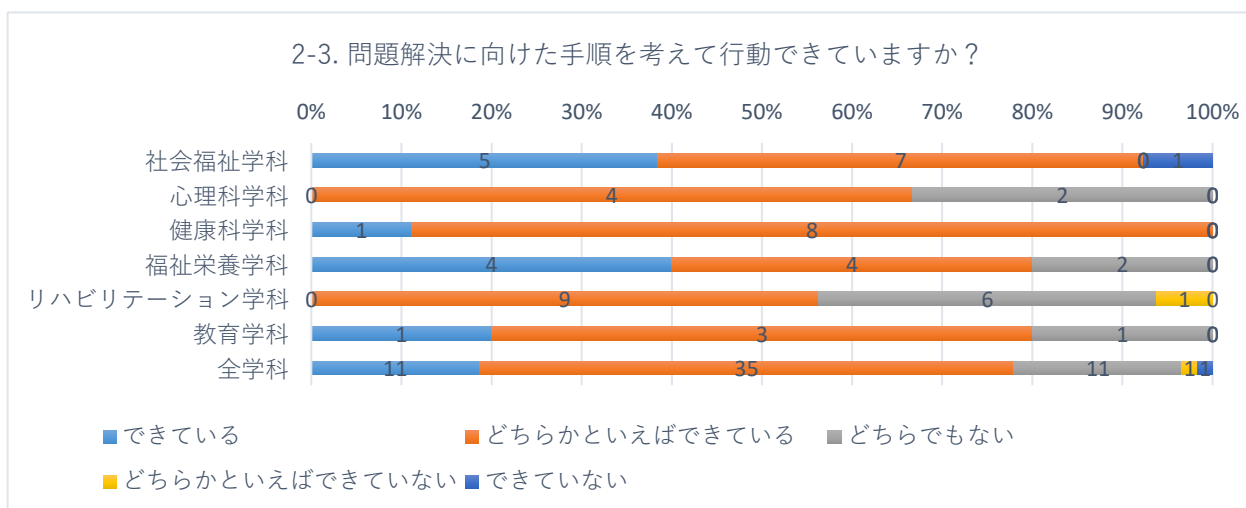


<事業所>

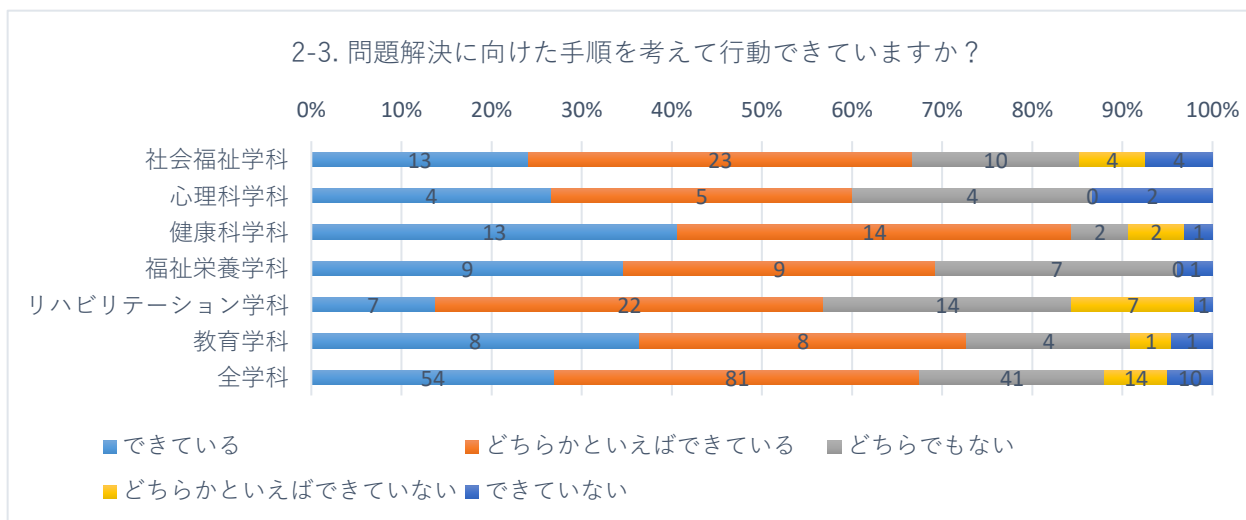


2-3. 問題解決に向けた手順を考えて行動できていますか？

<卒業生>



<事業所>

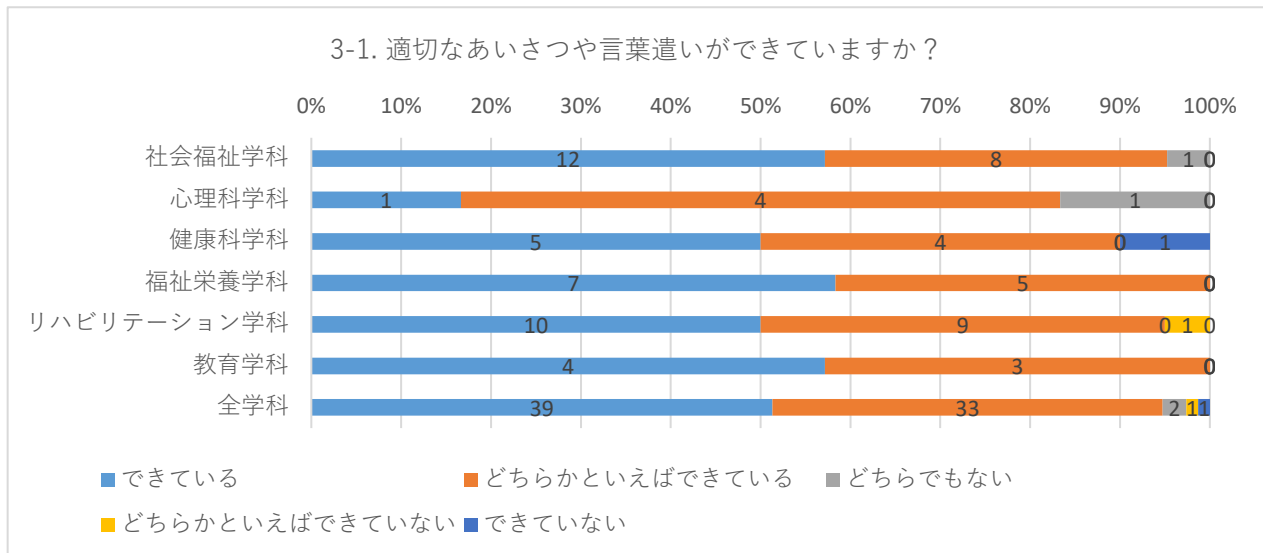


【3. マナーについて】

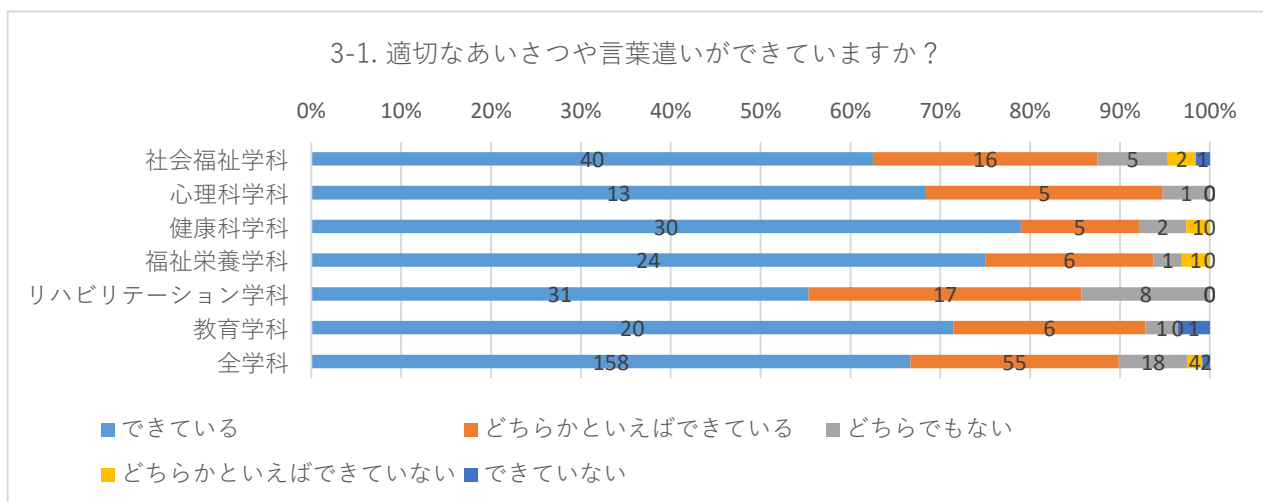
・(3-1.適切なあいさつや言葉遣いができていますか？)(3-2. 適切な電話応対や来客応対ができていますか？)共に、卒業生自己評価よりも事業所評価から「できている」の評価が高い傾向である

3-1. 適切なあいさつや言葉遣いができていますか？

<卒業生>

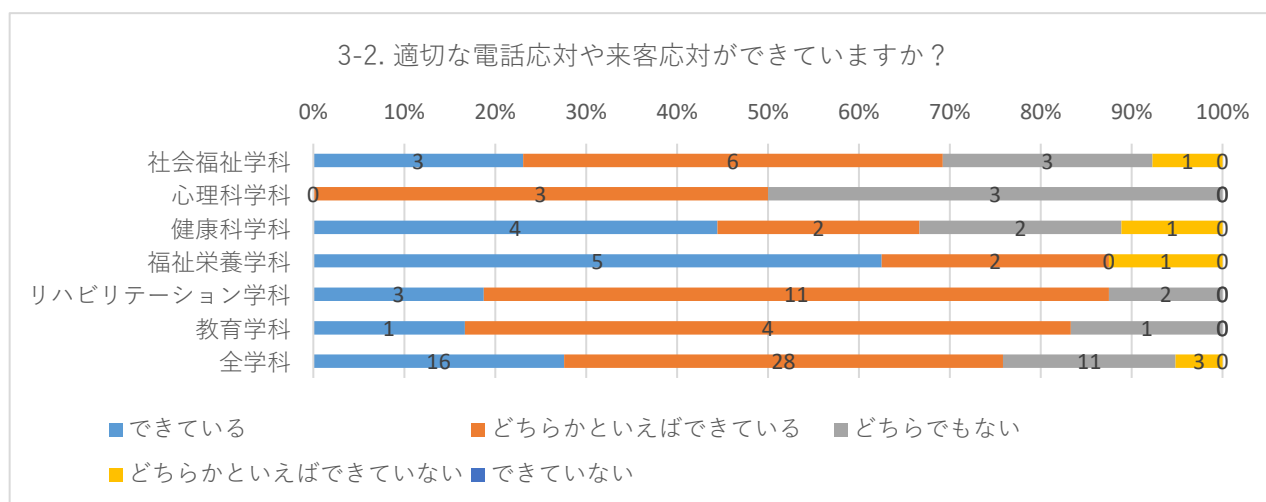


<事業所>

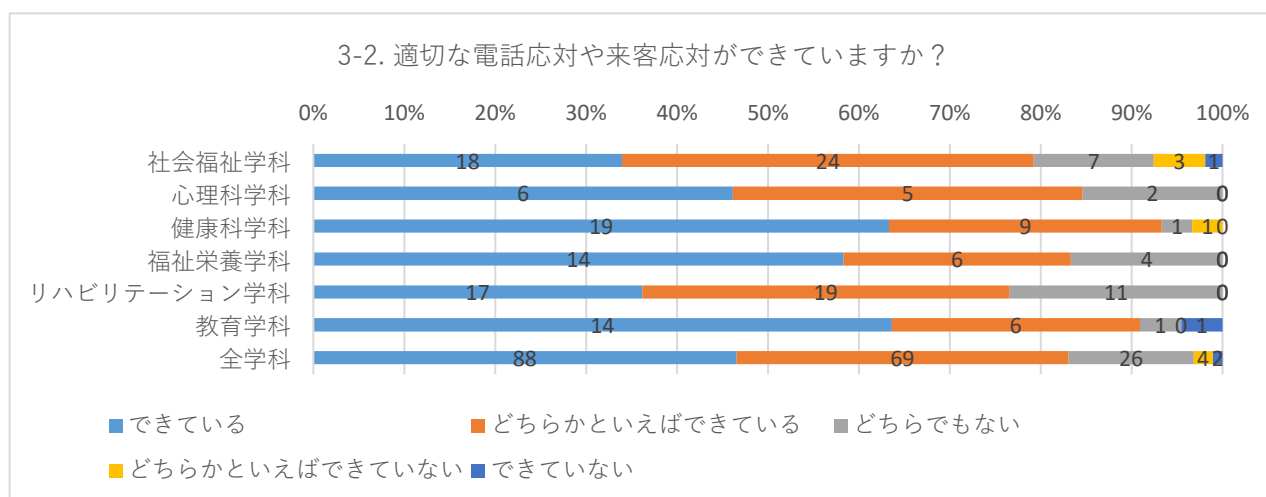


3-2. 適切な電話応対や来客応対ができていますか？

<卒業生>



<事業所>



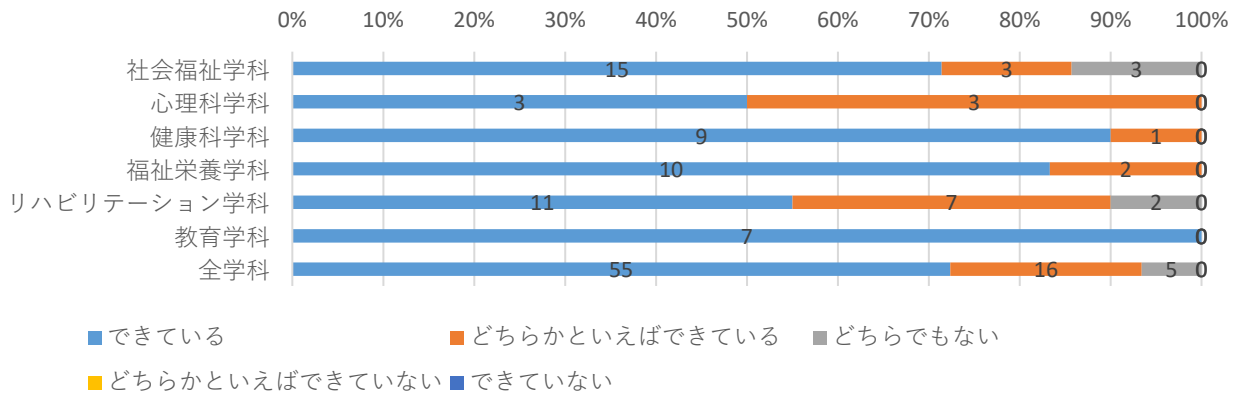
【4. 自己管理について】

・(4-1. 決められた時間を守ることができていますか？)(4-2. スケジュール管理ができていますか？)ともに卒業生自己評価、事業所から「できている」「どちらかといえばできている」の評価が多く、時間の管理を日常的に意識できている様子が分かる。

4-1. 決められた時間を守ることができていますか？

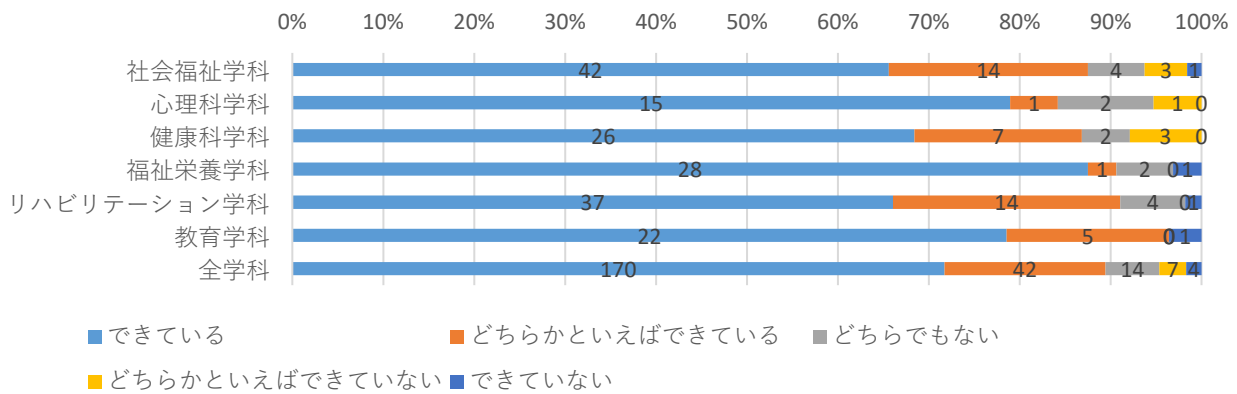
<卒業生>

4-1. 決められた時間を守ることができますか？



<事業所>

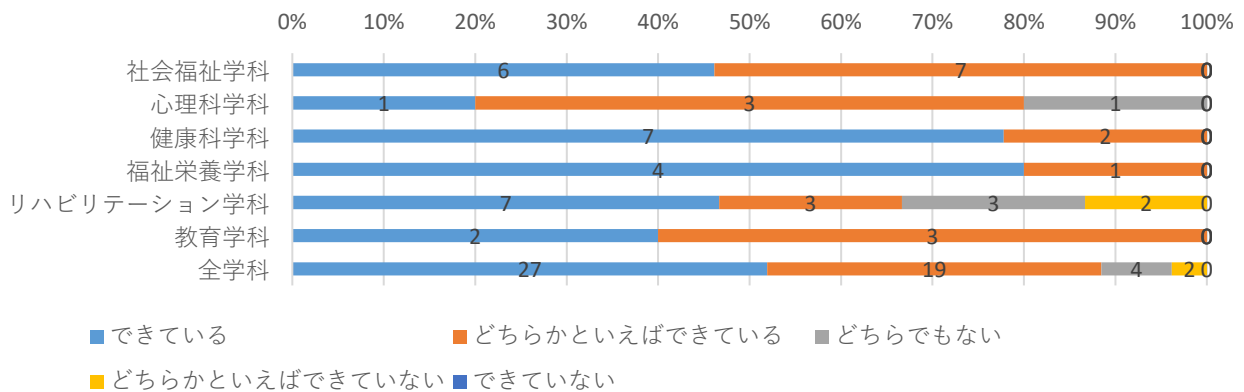
4-1. 決められた時間を守ることができますか？



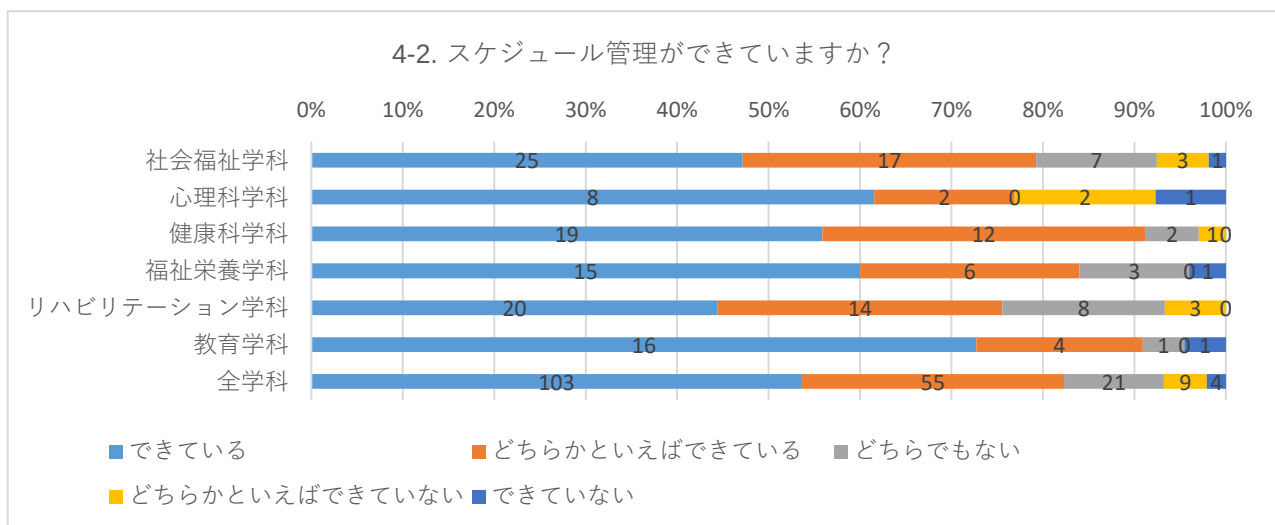
4-2. スケジュール管理ができていますか？

<卒業生>

4-2. スケジュール管理ができていますか？



<事業所>

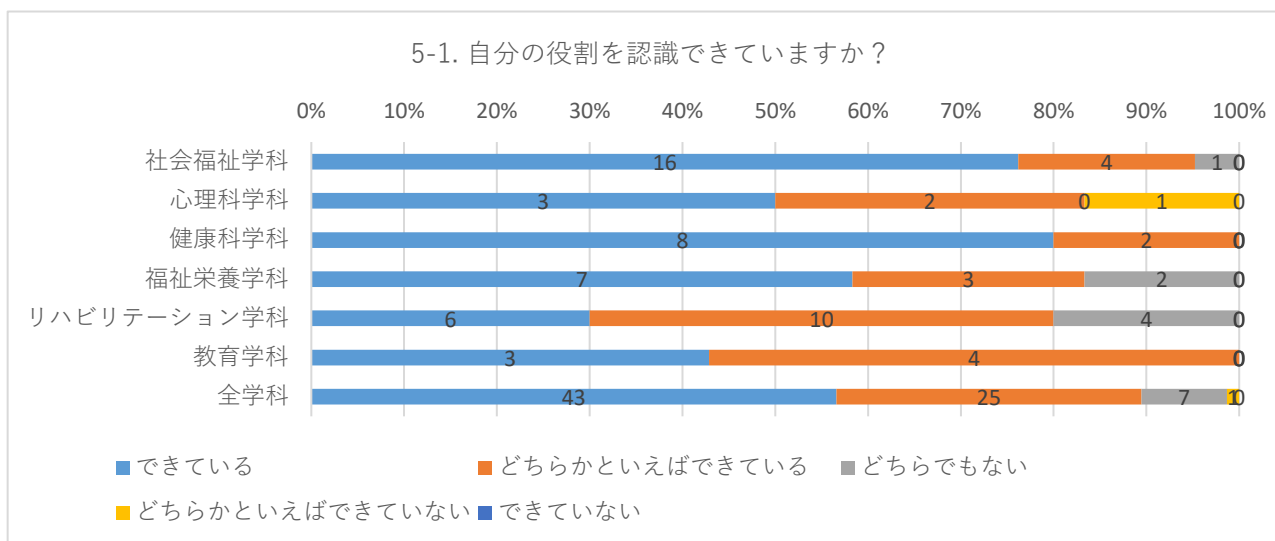


【5. 協調性について】

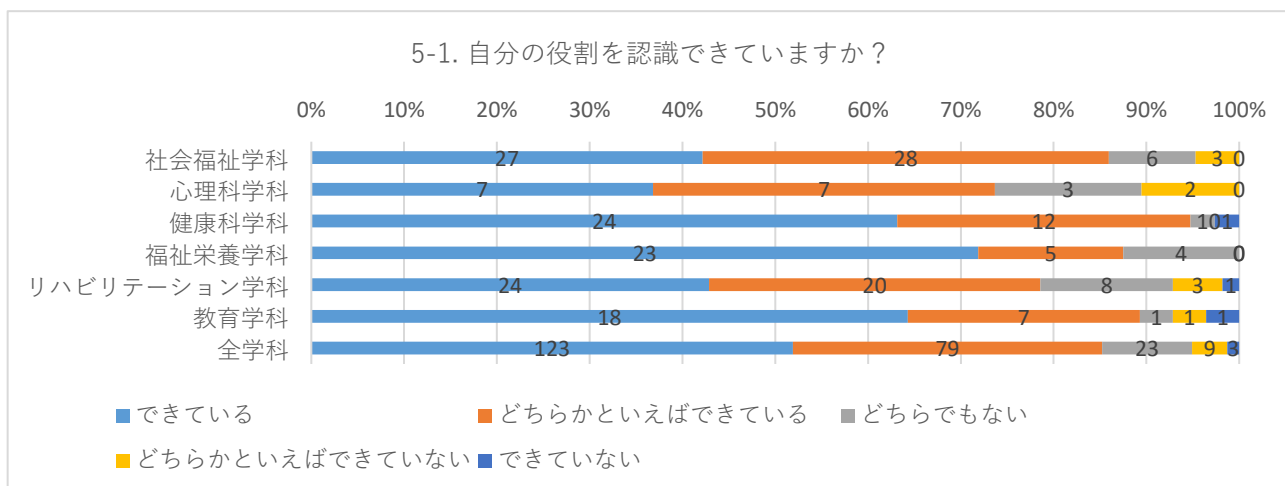
・（5-2. 職場の方々と協力できていますか？）について、卒業生自己評価、事業所からの評価共に高く、日頃から周囲との連携を大切にしている様子が分かる。

5-1. 自分の役割を認識できていますか？

<卒業生>

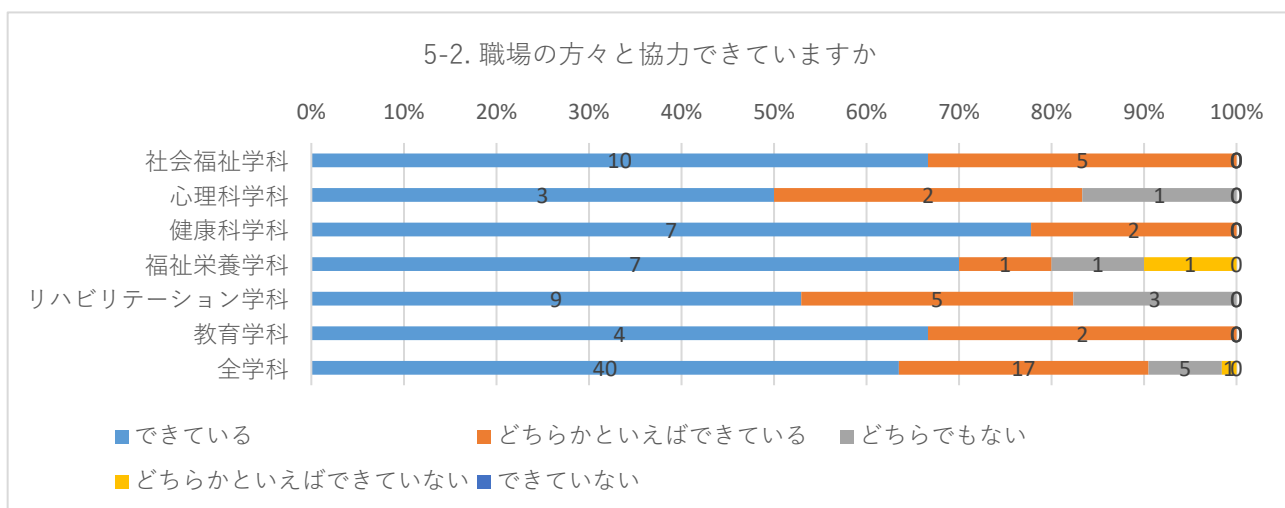


<事業所>

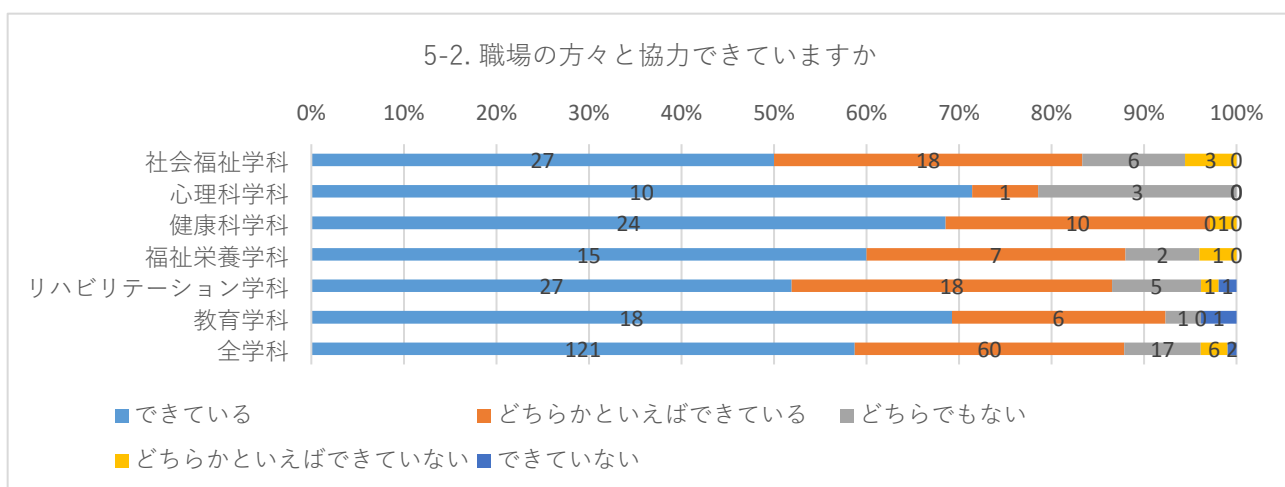


5-2. 職場の方々と協力できていますか？

<卒業生>

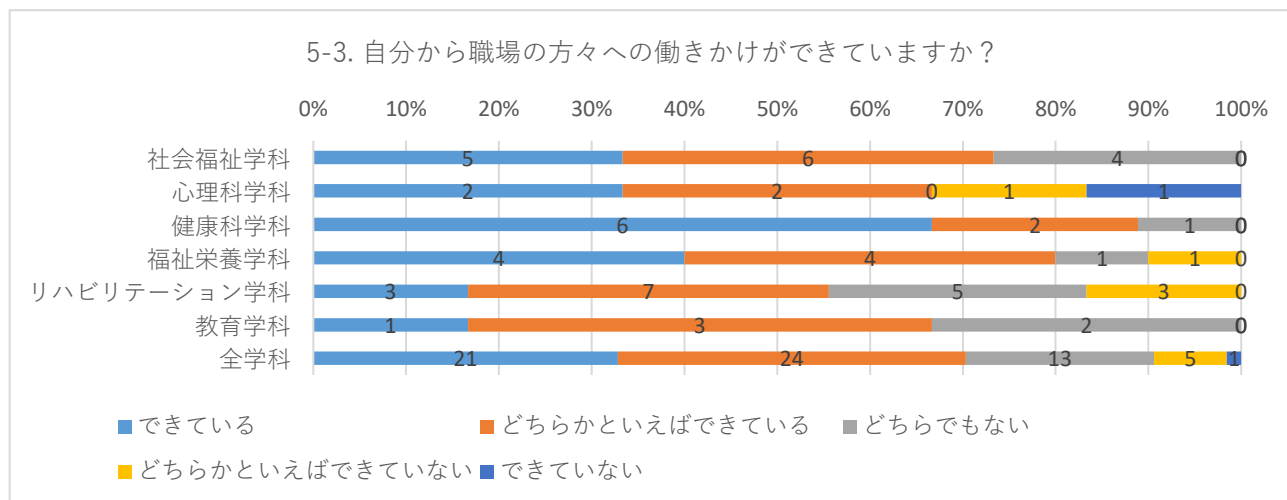


<事業所>

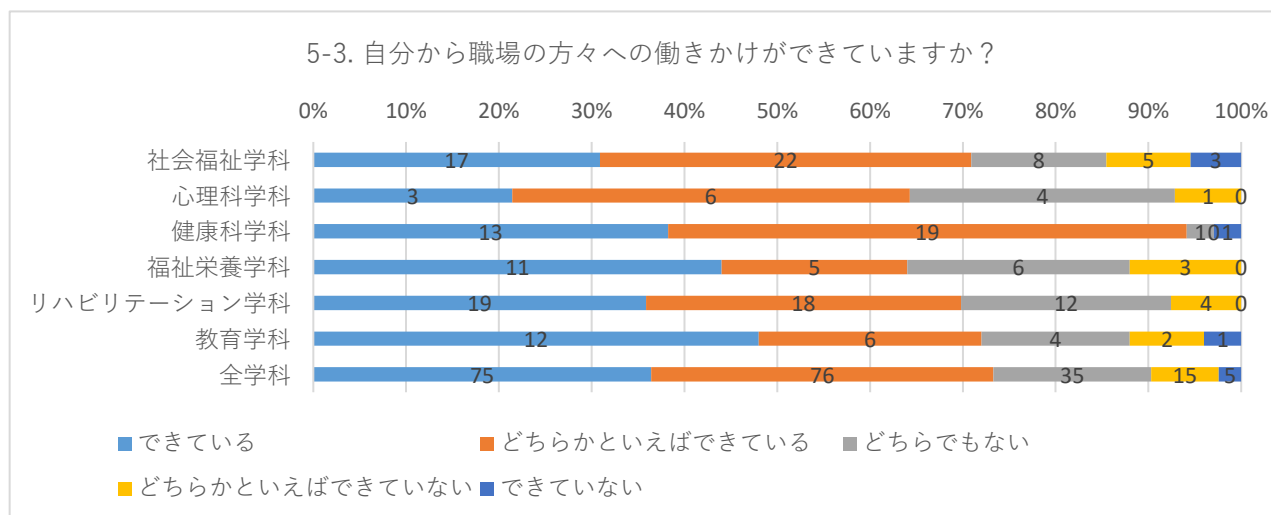


5-3. 自分から職場の方々への働きかけができていますか？

<卒業生>



<事業所>



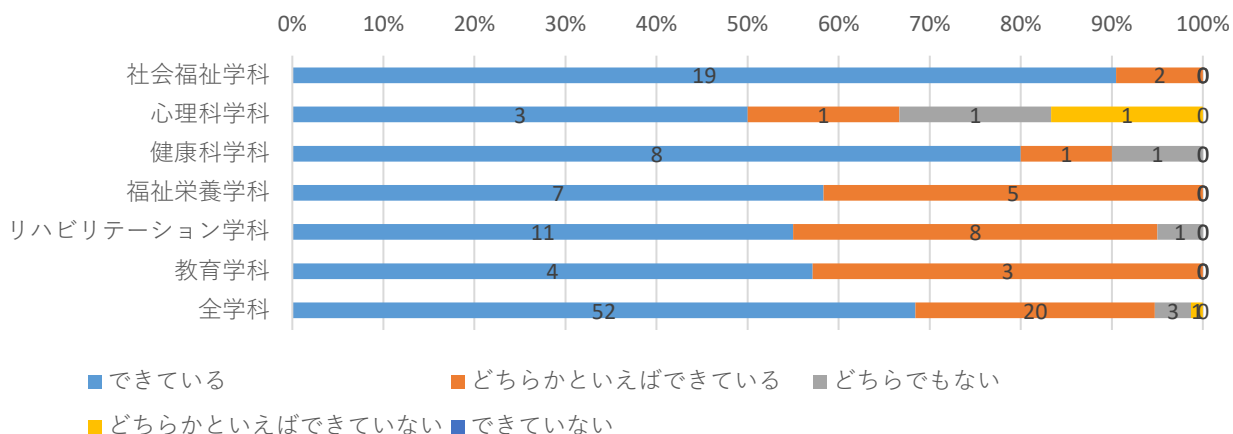
【6. その他】

・(6-1. 社会・職場のルールに従って行動できていますか？)(6-2. 人との約束を守ることができていますか？)について卒業生、事業所共に評価は高く、規範意識をもって仕事に取り組んでいる。

6-1. 社会・職場のルールに従って行動できていますか？

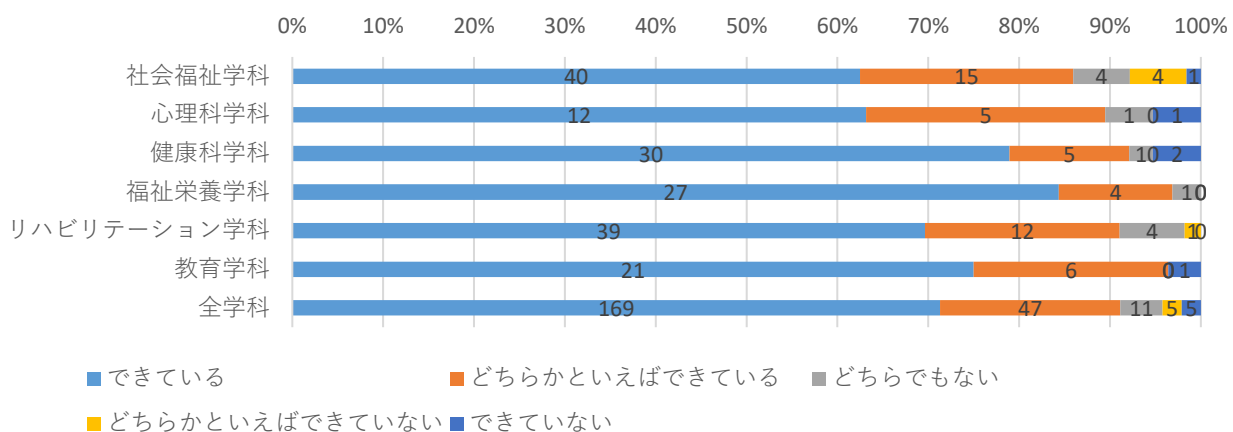
<卒業生>

6-1. 社会・職場のルールに従って行動できていますか？



<事業所>

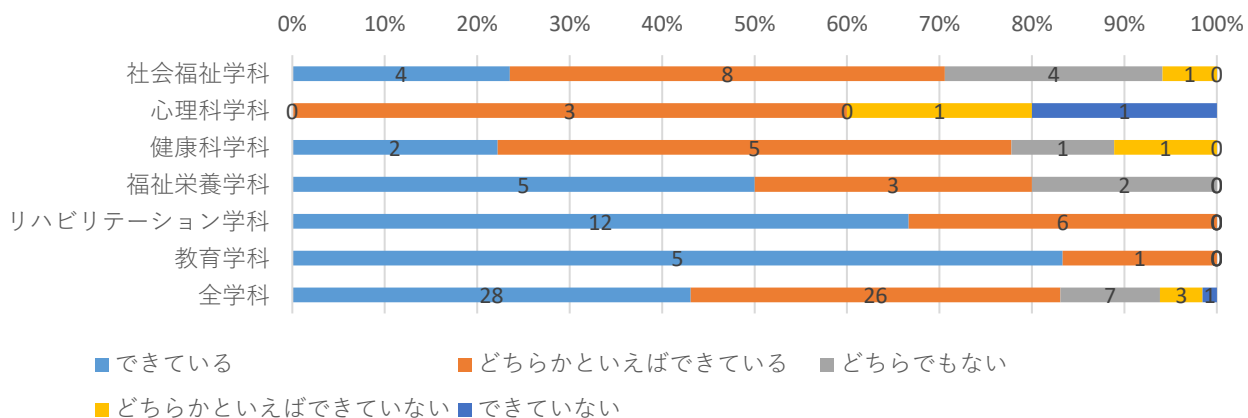
6-1. 社会・職場のルールに従って行動できていますか？



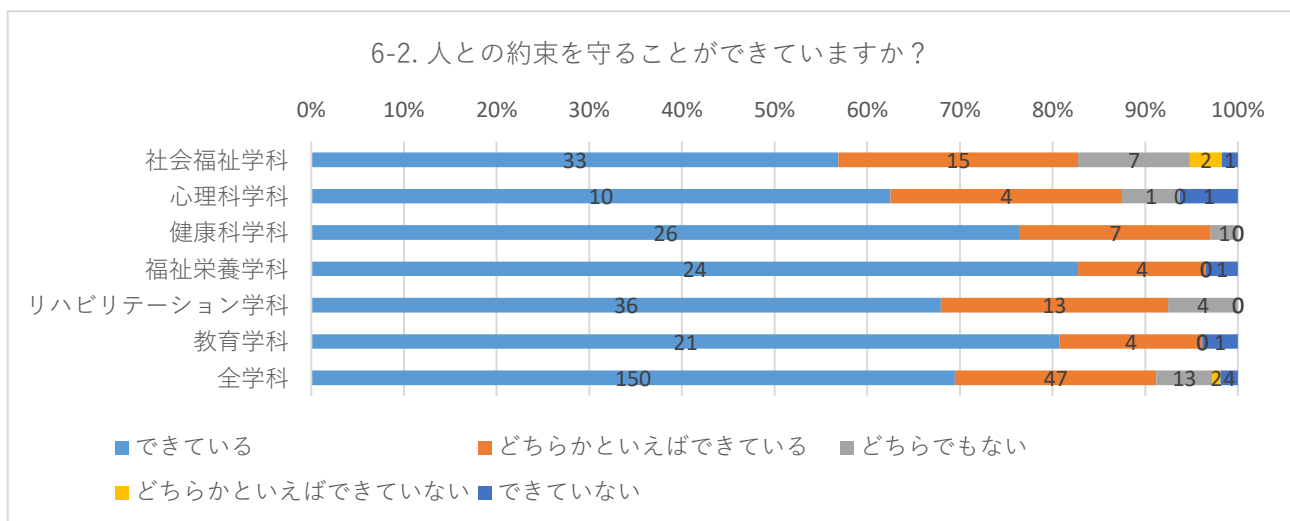
6-2. 人との約束を守ることができていますか？

<卒業生>

6-2. 人との約束を守ることができていますか？

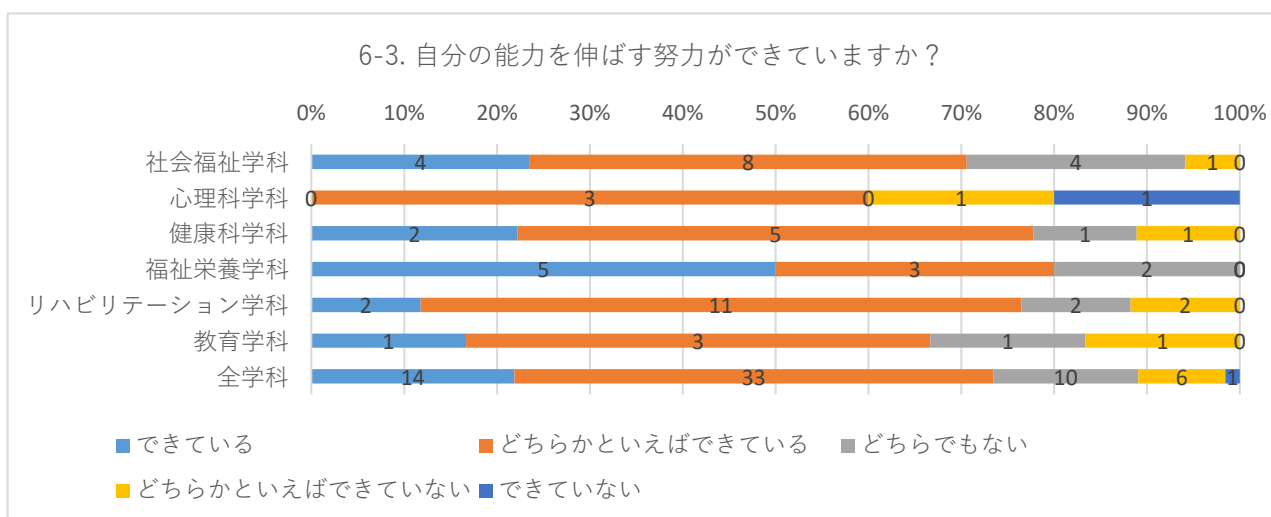


<事業所>

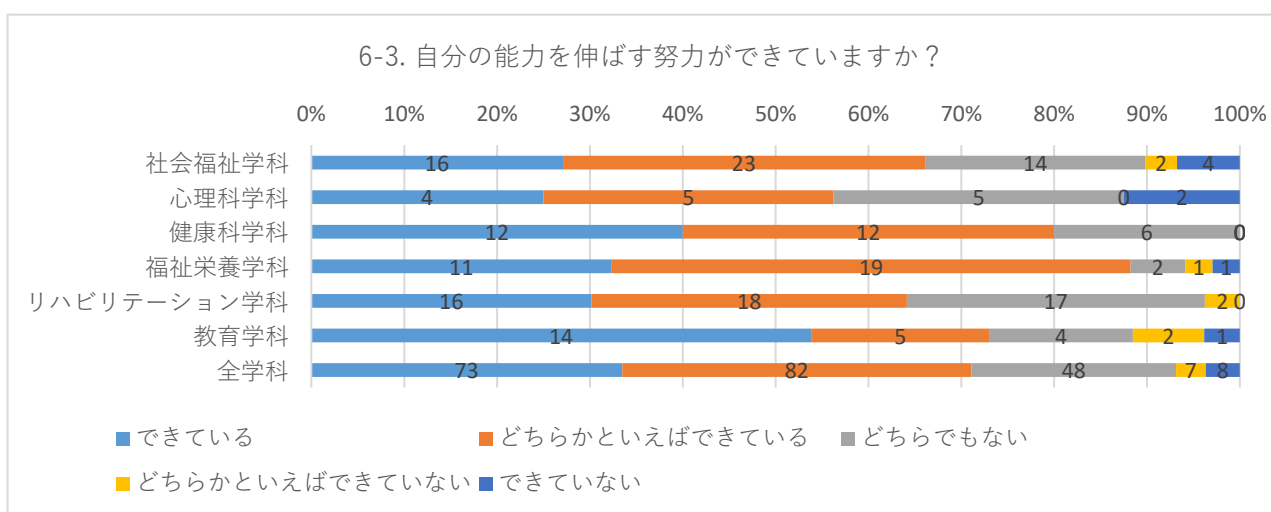


6-3. 自分の能力を伸ばす努力ができていますか？

<卒業生>

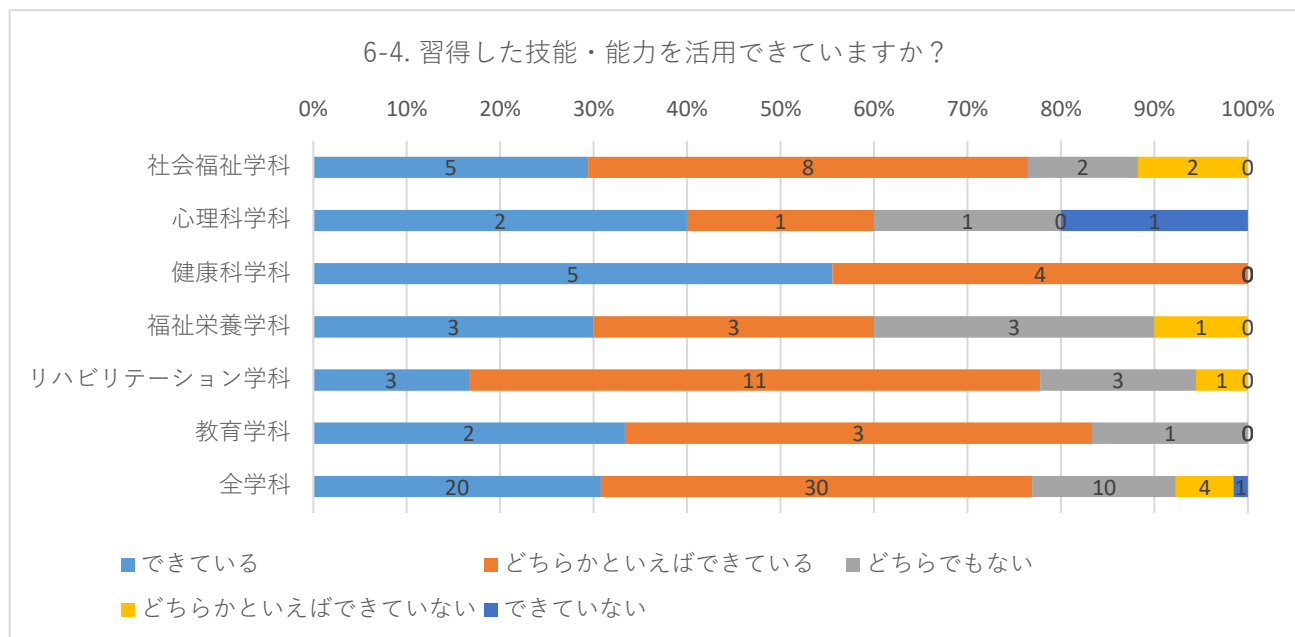


<事業所>

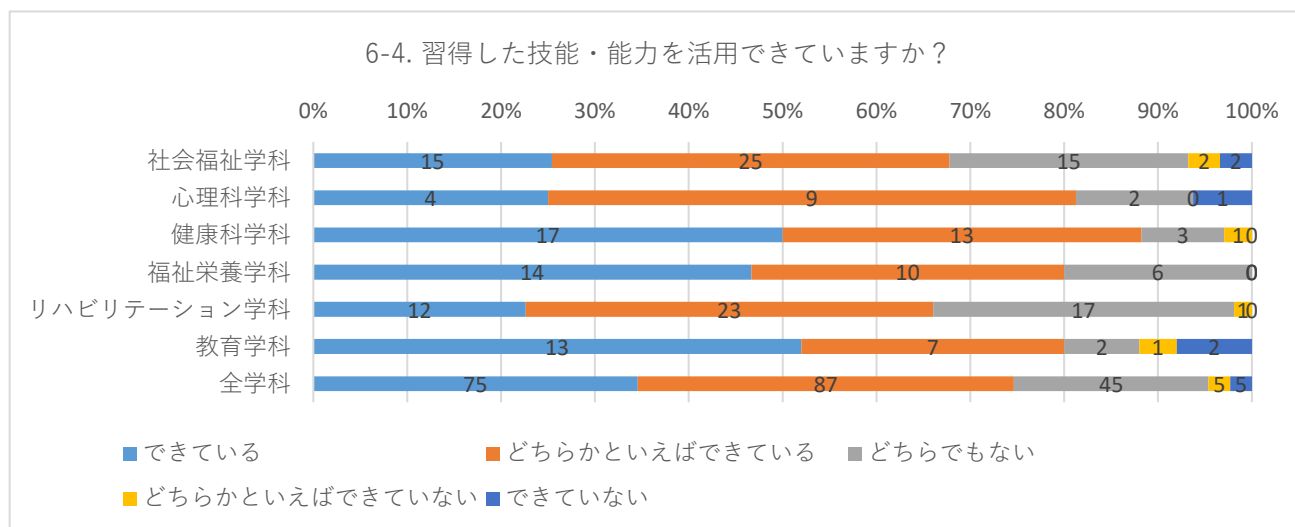


6-4. 習得した技能・能力を活用できていますか？

<卒業生>



<事業所>



【7. データサイエンス教育に関して】※事業所のみ

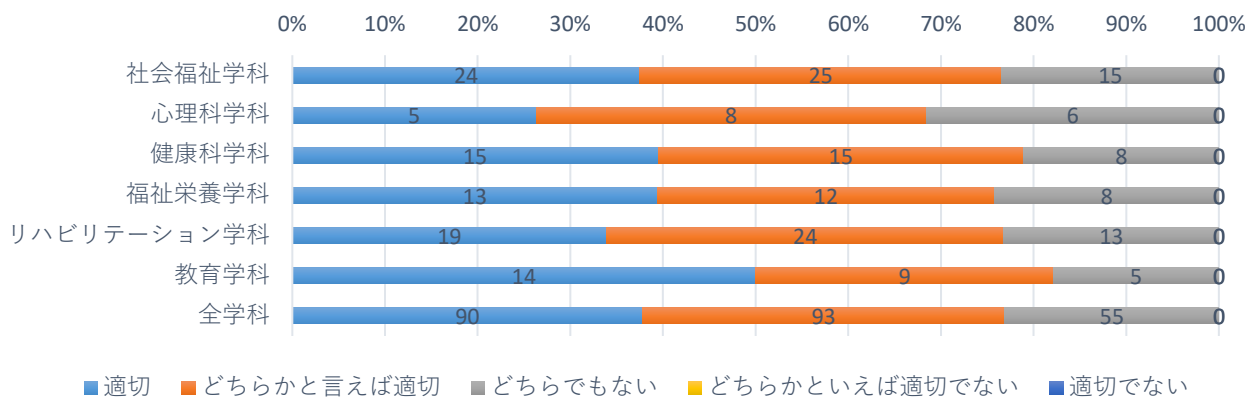
7-1. 本学では令和4年度入学生より必修科目「データサイエンス入門」を開講し、これからの時代に必要とされるデータサイエンスやAIの知識や能力を深める教育を推進しています。

→詳しくはこちら（<https://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/profile/ICT.html>）

この教育は、貴事業所が求める人材を育成する教育として適切であると感じますか。

7-1. 本学では令和4年度入学生より必修科目「データサイエンス入門」を開講し、これからの時代に必要とされるデータサイエンスやAIの知識や能力を深める教育を推進しています。

この教育は、貴事業所が求める人材を育成する教育として適切であると感じますか。



7-2. 上記設問で「どちらかといえば適切でない」「適切でない」と回答された場合、データサイエンスについてどういった教育が必要であると感じますか。（自由記述）

※7-1 にて回答がなかったため、記述なし

5. 分析結果

<回答結果に関すること>

- ・各質問項目に対し、卒業生自己評価と事業所の評価に大きな差が認められる項目はなかった。卒業生自身が客観的な視点で自身の仕事に関する評価を行えていると考えられる。
- ・自己管理や職場でのマナー面に関して、卒業生、事業所とも評価が高いことから、社会人としての基本的な姿勢を持ち、仕事に臨んでいると考えられる。在学中に問題解決能力を会得する機会があれば望ましいと考えられる。

<アンケート実施に関すること>

- ・卒業生からの回答率は 17.3%と低調な結果となった。今後は同窓会との連携を行い、アンケート実施の周知、依頼状未着の防止に取り組む必要がある。

以上